

コネクティングロッド用ニードルケージに 新表面処理『PMコート』を新たに開発

IKO 日本トムソンは、4サイクルエンジン内で使用されるコネクティングロッド用ニードルケージの新しい表面処理『PMコート』を開発し、エンジンメーカー様向けの特殊仕様として出荷を開始しました。

コネクティングロッド用ニードルケージは、高温下で、強い衝撃荷重、高速運動、厳しい潤滑条件など極めて複雑で苛酷な条件での使用にも耐える優れた剛性と耐摩耗性をもった軸受。その性能はレース用オートバイエンジンなどで数多く実証され、軽自動車、オートバイ、船外機、スノーモバイル、汎用エンジン及び高速コンプレッサなどのコネクティングロッド用軸受として広く使用されています。

近年ではエンジンの高出力・高性能化が進み、より高速で厳しい潤滑条件での使用を余儀なくされ、このような条件下において潤滑効果を高めるために、保持器に非鉄金属の表面処理（銅めっき及び銀めっき）を施した仕様を提供しています。しかし、従来から使用されている表面処理は、4サイクル用エンジンオイルに含まれている添加剤の硫黄イオンと化学反応を起こして劣化・消失するため、コネクティングロッドの早期摩耗の原因となっていました。

新開発した表面処理『PMコート』は、特殊な樹脂によるコーティングであるため、硫黄イオンと化学反応することがなく、かつ、コネクティングロッド用の保持器としての十分な耐摩耗性も兼ね備えています。また、摩耗粉などのコンタミ（不純物）に対しても従来以上の耐性があり、さらには、摩擦係数が銅めっき・銀めっきの約1/2と非常に低いため摩擦によるエネルギーロスが小さく、地球環境にも優しいハイブリッドな表面処理です。



本製品に関するお問い合わせにつきましては、ホームページの「お問い合わせ」にてお申し付けいただくか、最寄りの当社事業所にお問い合わせください。